

令和5年度 学校評価  
「重点目標」

学校教育目標	中・長期的目標
教育活動を通して、個人の尊厳と協調の精神を体得させ、民主的な国家社会の形成者たる資質を培うとともに、専門教育により広く国民経済における商業諸活動の担い手としての有為な人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身ともに健全で、人間性豊かな生徒を育てる。</li> <li>・学校及び社会生活の規律を重んじる心を育てる。</li> <li>・学習習慣を確立させ、自ら学び自ら考える態度を育てる。</li> <li>・進路目標を明確にさせ、その実現に向けて粘り強く努力する姿勢を育てる。</li> </ul>
今年度の重点目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立および、挨拶・身だしなみの徹底を図る。</li> <li>・自ら問いを立て、その解決に向けて主体的・協働的に取り組む力を育成する。</li> <li>・地域社会との連携や協働による活動を通し、探究的な学びを推進する。</li> <li>・学習活動や様々な行事等へのICTの積極的活用、および知見の共有を推進する。</li> <li>・生徒一人ひとりの人権を尊重し、いじめ・体罰等のない、安心安全な学校をつくる。</li> </ul>	

部	担当	今年度の重点目標	具体的な方策
教務部	教務	円滑な学校運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長/中期的な見通しを立て、計画や実施方法を具体化し、全職員で共有、各部および部内担当と有機的に連携しながら学校運営を行う。本校の最上位目標(グラジュエーションポリシー)の合意形成から、カリキュラム～アドミッションへと具体化できるよう、全職員で共創する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の規制緩和措置に併せて、コロナ禍を経験したからこそその技術やマインドを活かしながら、通常の活動に戻していく。</li> <li>・生徒の安全/安心および学びの保障を最上位目標に据えて、社会的変化に応じて、3F (Fast:迅速に、Fair:公平に、Fun:楽しんで)を基本に対応していく。</li> <li>・2026年度開校小諸新校への統合に向け、内規や学校行事などの精査および具体化を進める。定数減や新校準備に伴う職務負担の増大を職員間でフォローできるよう、寄り添う姿勢や日頃の声かけ、対話の機会を創り出せるよう運営する。</li> </ul>
		広報活動の充実と生徒募集対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学、授業公開、クラブ体験、入試説明会など、在校生が活躍することで、本校の活きた空気を中学生に感じてもらえるよう、計画/実施/支援する。</li> <li>・中学校訪問だけでなく、個別出張説明会を広報し、より多く出向くことで、より多くの中学生や保護者が本校に触れる機会を増やし、その中で商業の魅力や価値を発信して「伝わる」「行動させる」ような工夫を講じる。</li> <li>・新校で卒業する入学生や保護者に向けて、商業科の魅力や強みを分かりやすく伝え、かつ二年次までおよび統合後の学校生活等について、小諸高校と連携して、できるだけ具体的にイメージできるような学校パンフレットや案内の作成/配布を行う。</li> </ul>

PTA 同窓会	PTA活動の充実	○厚生委員会 ・「PTA講演会」の企画 ○教養・生徒指導委員会 ・「朝の声掛け指導」で生徒とふれあう ・年2回発行「PTA会報」の内容充実 ・「PTA同窓会講演会」の企画
	学校に足が向くPTAづくり	・PTA講演会・総会・学年学級PTAへの参加呼びかけ ・スマイル小商店街・合唱コンクールへの参加呼びかけ ・PTA同窓会講演会への参加呼びかけ
	同窓会 学校や生徒のニーズに合った講演会の計画・実施	・より良い同窓会（PTA共催）講演会を企画する。 ・学校、生徒の要望を正確に捉え、同窓会として応えられることを行っていく。
ICT	学習活動へのICTの積極的活用の推進	・ネットワーク環境を活かせるよう機器の導入、管理、メンテナンス等を行う。 ・GIGAスクールサポーター、職員による研修会を実施する。 ・教員、生徒の一人一台端末の運用のサポートを行う。
生徒指導	登下校中の安全の確保	・登下校指導により交通ルールを徹底させる。 ・自転車通学者に交通安全を定期的に啓発する。 ・自らの命の大切さと他者への安全配慮を徹底する。
	身だしなみの確立	・家を出る時から帰宅まで身だしなみを崩さない指導と助言を行う。 ・オフィシャルウェアとプライベートウェアの違いを理解させる。とくに式典時の身だしなみ指導を徹底する。
生徒指導部	社会的弱者とされる障害を持つ方や高齢者、女性、また同和地区出身者や外国由来の方など様々な立場の人々のおかれた状況や想い、生活課題などを知ることを通して、自立した人間として他者とよりよく共生できる感性と態度を育成する。	・全校生徒対象の人権の講演会（または映画観賞会）を実施する。 ・他の係と連携をとり、人権意識の向上、道徳教育の推進に努める。
	人権平和 ・修学旅行などの行事を通じて、被災された方々の労苦に想いを馳せると共に、防災・減災に対して学びを深め、地域社会の担い手としての意識を高める。また授業やその他の行事を通して、戦争の悲惨さを知ると共に平和の大切さを学び、主体的に平和を構築できる意欲と態度を育成する。 ・生命の大切さや人間としての尊厳を意識させ、あらゆる差別やいじめ、不正を排し、自他を尊重できる実践的な態度を育成する。	・修学旅行の事前学習や各学年行事など学年とも連携して、安心して生活できる環境（防災や平和への意識）のありがたさを認識させる。また授業などで各教科とも連携し、生徒が戦争の悲惨さや平和の大切さを継続して意識できるよう、配慮する。 ・各係と連携し、命の大切さの意識や新型コロナウイルスの感染などから生ずる差別やいじめなどを許さない意識や態度の育成指導を、適宜適切に行う。
生徒相談	いじめ・悩みを抱えた生徒及び特性を持つ生徒の掌握と適切な対応・支援	・アセス、「いじめ・悩みに関するアンケート」実施 ・生徒相談委員会、学年、学級担任、保健室との連携 ・SC、SSW、巡回支援指導員の活用 ・教育相談調査票の実施と活用 ・支援会議の計画・実施 ・支援に必要な情報提供
	いじめ防止及び自殺防止に関する生徒、職員への研修	・本校生徒の実態に即した学年ごとの研修の実施 ・職員への情報提供、情報共有と研修

進路指導	生徒の進路意識の熟成と自己理解の深化	・日頃より情報収集に努め、様々な経験を通して生徒が自分の生き方を考えられるような進路行事を企画する。
		・上級学校と連携した出前授業や特別講座を積極的に取り入れ、個々の生徒の成長を促す。
		・企業の雇用情勢や業務内容に注目をさせ、仕事への適性について考えさせる。
		・高大接続改革に向けて情報収集をするだけでなく、共有の場を設け、受験に対する指導体制の構築を図る。
進路指導部	基礎力診断テストの有効活用と基礎学力の定着	・生徒に対しての動機付けおよび意識付け、職員への情報共有を行い、より有効な活用方法を模索する。
		・基礎学力定着のための学習計画の立案と実施
図書視聴覚	生徒の教養・知識の育成と学習センターとしての役割	・図書館利用の促進を図る
		・図書委員の指導
	必要な情報を収集、選択、活用する能力育成のための情報センターとしての役割	・図書の貸し出し返却の手続き・貸し出し期限の厳守
		・蔵書の配分比率に即して本を収集する
読書を楽しみ、想像力と豊かな心をはぐくむ読書センターとしての役割	・購入希望調査	
	・図書館教諭・司書の研修会参加	
生徒会活動などにおける適切な放送運営	生徒会活動などにおける適切な放送運営	・広報活動を積極的に行う
		・他校との交流
		・各種行事については、生徒が主体的に行動できるよう日頃から機材等の取り扱いを指導する。
		・本部役員とも連携がとれるよう適切な助言を行う。
生徒会	主体性、協調性を持たせ、積極的に委員会活動へ参加させる。	・各種行事ではコロナウイルスの感染状況により、急な変更にも対応できるよう、日頃よりICT機材の準備に慣れさせる。
		・委員会活動の意義と各委員会の役割を理解させ、自覚と責任をもって仕事に当たらせる。
	各種行事に全力で取り組み、一つ一つの行事が役員だけでなく全校生徒が満足のいくものとなるよう努力する。	・受け身ではなく、自ら出来ることを考え、実行していけるような積極性と責任感を持たせる。
		・各種行事については、全校生徒が「与えられて」行うのではなく、全校生徒で「作り上げて」いけるようなものとなるよう工夫させる。
整美	校舎内外や学校周辺地域の環境美化に取り組む。 ゴミの分別の徹底を図る。	・行事の企画運営に関し、リハーサル徹底にこだわり本番さながらの準備ができるよう、適切な助言・指導を行う。
		・各種行事ではコロナウイルスの感染状況により、急な変更にも対応できるよう、日頃よりICT機材の準備に慣れさせる。
保健	自らの健康について関心を持ち、生涯を通じて自発的に健康な生活を送ることができる能力を育成する。	・清掃用具を整備して各自が清掃活動に参加できるようにする。
		・各クラスやゴミ集積所で、美化委員により呼びかけを繰り返す。
保健	自らの健康について関心を持ち、生涯を通じて自発的に健康な生活を送ることができる能力を育成する。	・定期健康診断や健康相談等を通じ、自らの健康課題を把握し改善することができるよう指導する。
		・外部講師による保健講話を実施する。

学年	今年度の重点目標	具体的な方策
一学年	基本的な生活習慣の確立をし、高校生としての自覚を持ち行動できるようにする。	・挨拶、身だしなみ、時間を守ること、提出物の期限を守るなど日々の声掛けを通じて生活習慣の確立をする。スマートフォンの扱いなど、高校生として自分の行動に責任を持つことの大切さを教える。職業について知り、これからの進路について考えさせる。
	学習習慣を身につけ、主体的・協働的に取り組む力を養成する。	・学習環境を整え、日々の授業に集中して取り組めるようにする。学習課題を期限を守って提出できるようにする。グループワーク等を通じ友人と協力して課題を解決できるようにする。
	人権尊重の姿勢を育む。	・ソーシャルスキルトレーニングなどを実施し、他者との関わり方を学ばせる。いじめ・悩みアンケートや日々の生徒の様子から、問題の早期発見・解決をし、人権侵害は絶対に許さない姿勢で生徒に臨む。
二学年	自律 自ら考え、行動する姿勢を養う。	・挨拶、身だしなみ、時間の管理等の基本的な生活習慣の確立するため、日々の声掛けを行う。また、公私の区別をつけた振る舞いができるよう、日々の声掛けを行う。
		・学習環境を整え、授業に集中できる空間を作る。そのために、徹底した私物管理と生徒自身による整美活動をうながす。
		・授業や進路活動を通して、自己理解をし、自己の価値や学びの意義を見出すとともに、学習習慣の確立を目指す。
	協調 他者を尊重し、他者と協調する姿勢を持つ。	・挨拶と感謝の気持ちをきちんと表現する習慣を確立する。
		・学年集会や講演会等を通じて、他者理解への意識を高める。
		・修学旅行や学校行事を通じて、他者と活動する機会を持ち、相手を尊重した振る舞いができるよう努める。
挑戦 物事に前向きに取り組む姿勢を育む。	・学習目標を持つために、校内外の進路ガイダンスを通じて、就職や進学に関する知識と意欲を高める。	
	・検定取得に向けた活動、校内外での個々の活動を通して、前向きに挑戦する姿勢を確立する。	
	・検定取得や学校生活を通して自己肯定感を高め、新たな可能性を切り拓く姿勢を養う。	
三学年	基本的な生活習慣や、集団の中での行動を通して社会人基礎力を養成する。	・授業や学年集会などを通して、時間厳守、身だしなみについて繰り返し指導する。聴く姿勢を身につけさせると共に、主体的に学習に取り組む習慣づけを行う。
	自ら考え、主体的に行動する力を養う。	・授業や学年集会などを通して、時間厳守、身だしなみについて繰り返し指導する。聴く姿勢を身につけさせると共に、主体的に学習に取り組む習慣づけを行う。
	各自のライフプランについて考えさせると共に、進路意識を高め、個々の進路を具体化させていく。	・進路ガイダンスや講演会等を有効に活用し、生徒がそれぞれの進路を具体化させるとともに、進路実現のための課題を考えさせる。また、多くの「大人」との交流も積極的に仕掛けていく。